



は し ん ぶ ん よつのはる新聞

福島県立平支援学校
第 14 号
令和5年11月吉日発行

自ら体験することの大切さ

教頭 齋藤 隆康

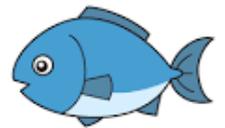
保護者や地域の皆様、関係機関の方々には、日ごろより本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

私は、本校に赴任して2年目となりました。日々、子供たちの喜びに満ちた笑顔と学びに対する期待感あふれる、ときめく表情に触れさせていただいております。

子供たちは、どんなときに「笑顔」や「ときめき」あふれた表情になるのか？

授業参観をしていると、多くは教材を操作したり、本物に触れたり、実際に使ったりしたときに、「笑顔」や「ときめき」あふれる表情になっているように感じます。

しかし、私たちは、時として失敗やけがなどを恐れることから、子供たちが体験する機会を避けてしまうことがあります。



小学部のある学級の授業で、生きた魚を観る・触る学習をしていました。児童は、目の輝かせて生きた魚と向き合って学んでいました。改めて、子供たちが自ら体験しながら学習することの大切さを実感しました。

便利なものがあふれる社会になっている昨今ですが、私たちは「子供たちにとって大切なものは何か？必要な学びは何か？」と問われていると感じています。



～いわき地区特別支援研究会セミナーⅠの紹介～

7月28日（金）に、本校で『いわき地区特別支援研究会セミナーⅠ』が行われました。

午前は、8つの講座に分かれての課題別分科会で、日々の指導や支援に活かせる実践的な内容や活用法について理解を深めました。午後は、講師に医療創生大学の教授山本佳子先生をお招きして、「発達障がいのある子どもへの支援」というテーマでご講演いただきました。発達障がい児の言動の理解の仕方や不登校の要因や対策などについて、事例を交えながら分かりやすくお話をいただきました。



～地域支援センター特別支援教育研修会～

8月23日（水）に、本校で『地域支援センター特別支援教育研修会』が行われました。

講師に公認心理師の佐藤則行氏をお招きして、「子どものメンタルヘルスに関する課題とその支援を考える—自己肯定感、感情コントロール、不登校に関する臨床心理学的視点から—」というテーマで講演をいただきました。参加された先生方からは、「子どもと結び付けながら講演を聞くことができた。」「今後の指導に生かしていきたい。」などの声をいただきました。





早期教育相談「あ・そ・び・ば」



心身の発達が気になる就学前のお子さんを対象とした遊びの広場「あ・そ・び・ば」を6月、7月、9月の計3回実施しました。

担当になった先生と一緒に、エアートランポリンや楽器などのそれぞれが好きな遊びをしたり、友達と一緒に歌や絵本の読み聞かせをきいたりしています。今年度は、エアートランポリンが大人気！先生や友達と一緒に大きく弾んで身体を動かしています。7月には「片栗粉スライムをつくろう」という活動を行い、好きな色を選んでスライムづくりをしました。今年度は、あと2回の「あ・そ・び・ば」を予定しています。感染症対策をしながら、楽しい活動を企画しています。ご参加をお待ちしています！！



今後のあそびば予定

12/15(金)

1/19(金)




よつの葉教室

本校への入学を希望する未就学児の保護者に向けて、9月から「あ・そ・び・ば」と同日に「よつの葉教室」が始まりました。「よつの葉教室」は、幼児の教育的ニーズや必要な支援を整理し、保護者が安心して入学準備を進めることができるようにすることを目的としています。

第1回目は、「学校での医療的ケア」というテーマで開催されました。医療的ケアとは何か、本校で実施している医療的ケアの内容、実施までの流れなどについて説明がありました。過去に実施したよつの葉教室の資料は、本校のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

今年度残り2回のあそびばでも、よつの葉教室の開催を予定しています。質問や相談も受け付けていますので、お気軽にご参加ください！



「よつの葉教室」今後の予定

- 12/15(金) 姿勢管理と身体の動きについて
- 1/27(金) コミュニケーション(ことば)、教材・教具等について

※あそびばと同時に開催しています。

